

「我孫子オオバン市民債」は何故人気を呼んだか？

平成 16 年度に募集された、この市民債は目標額 2 億円に対して 10 億円もの申し込みがありました。湿地保全の方策の成功例として参考になると思い詳細について問い合わせしてみました。(以下は質疑応答です。)

Q 1 . いきさつは？

A . 「緑のネットワーク」の一環として、市北部の古利根沼(通称、三日月湖)の保全が挙げられ、全 20ha のうち私有地の 16ha を市民債と借入金で買い上げる事となり、2 億円の市民債発行額に対して 5 倍の申し込みがあり、公開抽選となりました。結果、借入金 1 億 7000 万円と諸経費を合わせて 4 億 2915 万円で買い上げました。

Q 2 . 金融機関はどちらですか？

A . 発行窓口は千葉銀です。

Q 3 . 市議会では多数決で承認されましたか？

A . 計画当初から、国及び市議会の承認を受けていました。

Q 4 . 維持・管理は N P O 等に委託されていますか？

A . 主に市の公園緑地課で管理をしています。他に以前から「古利根沼を守る会」の方達が引き続きボランティアで清掃などの活動をされています。

Q 5 . 保護区になっていますか？

A . 取手市の飛地(県境)に隣接するため、なっていません。「緑地保全条例」で管理しており、ベンチが置いてある程度です。

Q 6 . 現状は？

A . 殆どが水深 4 m 位のため、シギ・チドリ類は少なく、冬季に市鳥のオオバンなどカモ類は来ます。山階鳥類の方の話だと釣り人が多い、という事です。

Q 7 . 新聞発表では、趣旨が明確(自然保護)であった為、人気を呼んだのでは...とありましたが、成功の原因は何でしょうか？

A . 今回の場合、投資目的の人は申し込まなかったと思います。定期預金より若干利息が高い(0.58)為、預金目的の方が多く申し込まれました。